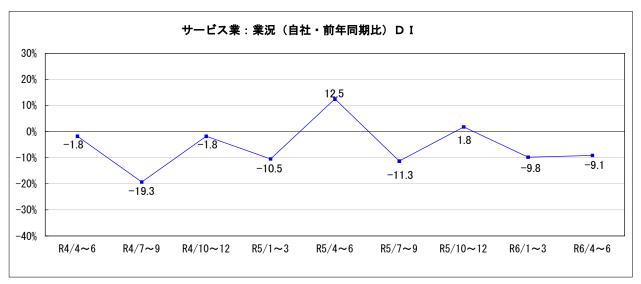
5. サービス業の動向

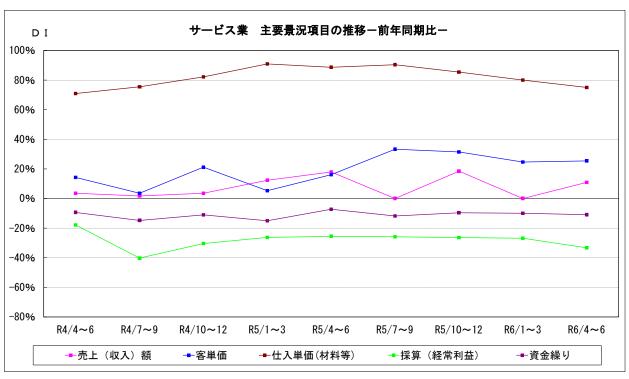
(1) 業況概要(前年同期比)

今期の業況DI値は-9.1。前期の-9.8から0.7ポイント上昇した。 来期の見通しは-16.4の予想である。



サービス業の主要景況項目DI値の推移(前年同期比・%)

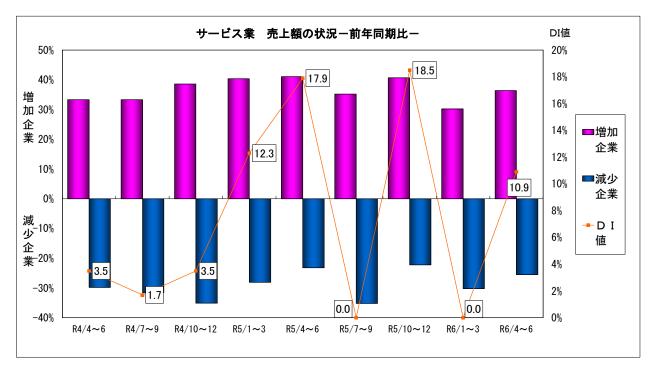
/ 木ツ工女 ホル スロロ 直ッ 上内											
	前々期 (R5年10月~12月)	前期(A) (R6年1月~3月)	今期(B) (R6年4月~6月)	今期と前期の差 (B)-(A)	来期見通し						
	(内3年10月1912月)	(内0年1月19月)	(K0+47, 07)	(B) (A)							
売上(収入)額	18.5	0.0	10.9	10.9	7.3						
客単価	31.4	24.6	25.4	0.8	20.0						
仕入単価(材料等)	85.4	80.0	75.0	-5.0	57.7						
採算 (経常利益)	-26.4	-26.9	-33.3	-6.4	-25.9						
資金繰り	-9.6	-10.0	-10.9	-0.9	-7.2						



(2) 主要項目の概況

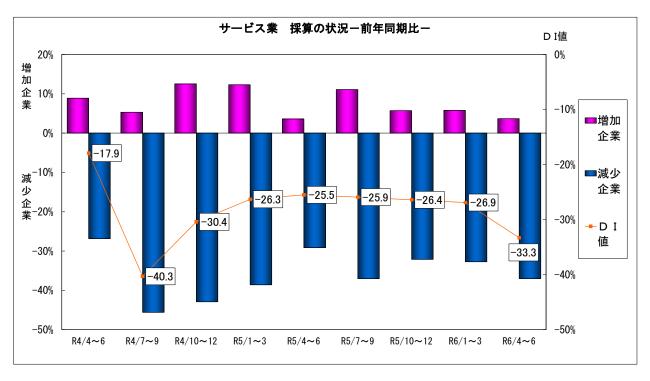
①売上(収入)額〈前年同期比〉

今期の売上(収入)額DI値は10.9。前期0.0から10.9ポイント上昇した。 来季の見通しは7.3の予想である。



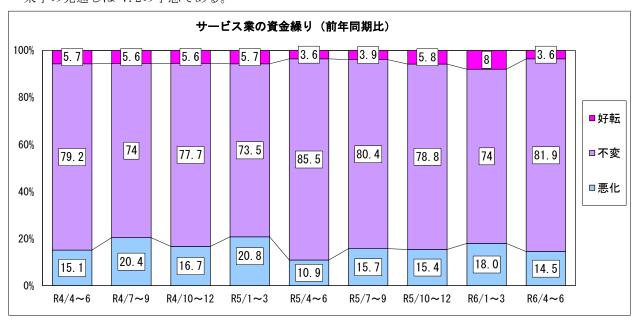
②採算(前年同期比)

今期の採算(経常利益) DI値は-33.3。前期の-26.9から-6.4ポイント低下した。 来季の見通しは-25.9の予想である。



③資金繰り (前年同期比)

今期の資金繰りDI値は-10.9。前期の-10.0から-0.9ポイント低下した。来季の見通しは-7.2の予想である。

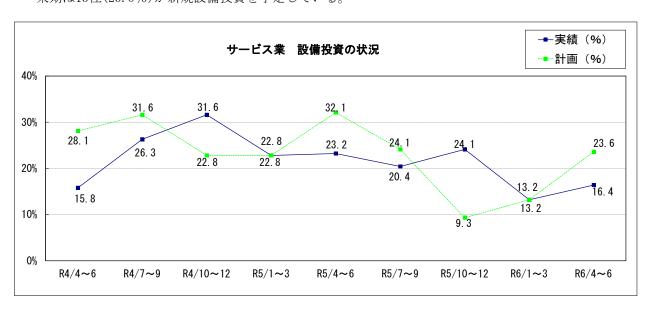


④設備投資

新規設備投資の状況

例 AC aX T/H 1X 貝 V A A A C											
					投	資	内	容			
		あり	土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	なし
前期実施(実	₹数)	7	0	2	1	4	1	1	0	0	46
	(%)	13.2	0.0	28.6	14.3	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	86.8
今期実施(実	₹数)	9	0	1	3	2	2	0	0	2	46
	(%)	16.4	0.0	11.1	33.3	22.2	22.2	0.0	0.0	22.2	83.6
来期計画(実	€数)	13	0	4	5	2	1	1	0	3	42
	(%)	23.6	0.0	30.8	38.5	15.4	7.7	7.7	0.0	23.1	76.4

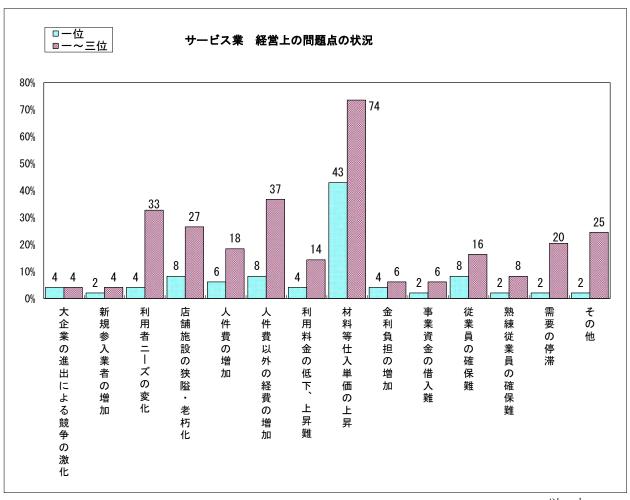
今期設備投資を実施した企業は9社(16.4%) 前期(令和6年1月~3月)の実施企業7社(13.2%) 来期は13社(23.6%)が新規設備投資を予定している。



⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位~三位にあげる項目は

- ・「材料等仕入単価の上昇」 (前期59.6%→今期73.5%)
- ・「人件費以外の経費の増加」(前期46.2%→今期36.7%)
- ・「利用者ニーズの変化」 (前期28.8%→今期32.7%) となっている。



以 上